

モンゴルの春

問合先 自治振興課

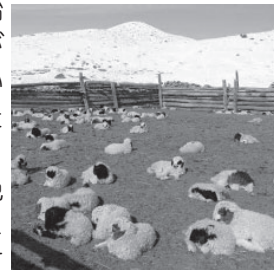
国際交流員オギー通信
Сайн байна уу
サインバイノー!
 (モンゴル語で「こんにちは」)

春は遊牧民にとっては一番大事な時期であり、いわゆる家畜の出産ラッシュが始まります。つまり、2~3月くらいに羊とヤギ、4~5月くらいに牛、馬、ラクダが生まれるのです。遊牧民は多忙ですが、厳しい冬を無事に乗り越えた喜び、可愛い子家畜の鳴き声で元気になった笑顔、母家畜から乳が出始めた恩恵などが重なった季節でもあります。

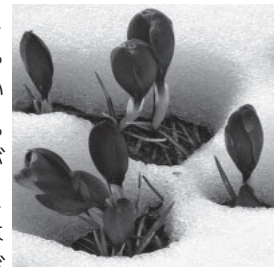
春といえばモンゴルでしか食べることができない食べ物があります。これは黄色くて甘いにおいのトロリとした、牛の初乳でできた「オーラグ」という乳製品のことで、日本でプリンを食べるたびにオーラグのことを思い出すぐらい似ていますが、プリンの方がより甘いです。

春4~5月ぐらいまで多くのモンゴル人に「春を告げる草」として愛されている、オキナグサが咲きます。ピークになると草原一面が紫色になるぐらいきれいです。ヤギの大好物となるオキナグサのつぼみを人間が食べるとその年に風邪を引かないと言う人もいれば、私は「ヤギじゃあるまいしオキナグサは食べない」と言う派です。

雪解け水が川を勢いよく流れはじめ、花も咲き、草が伸び始める5月中旬頃からは雨が良く降るようになり、茶色かった地面は日に日に緑になります。モンゴルでは「土地の色が直される」と表現するこのときから短い夏が始まります。



羊の赤ちゃん



オキナグサ

オギー
 ▶国際交流員の



今月のモンゴル語

дулаан (ドゥラーン) : 暖かい

хавар (ハ瓦尔) : 春

айлчлан ирлээ (アイルチラン イルレー) : 来た

市民公益活動団体紹介

市民のみなさんが積極的にボランティア活動やNPO活動に取り組むことができるよう、市に登録された市民公益活動団体の情報を掲載しています。

問合先 自治振興課

特定非営利活動法人 動物愛護のら猫サポート

私たちは、地域猫と呼ばれているネコたちの避妊、去勢手術をしています。不幸な子猫が生まれぬよう捕獲し病院へ搬送し、もと居た場所に戻すという活動をしながら、「餌やりさん」に対してアドバイス・サポートや飼い猫に関する相談に対しアドバイスなどを行っている団体です。

【相談の一例】

● 自分に何か起これば、飼っている猫はどうすればよいか
 ● 高齢のため、どうしたら残された猫の面倒をみてもらえるのか

【アドバイス】

● 財布の中や玄関の目のつくところに「猫を飼っています。私になにかあったら、〇〇〇〇に連絡して猫の救出をお願いします。」と書いた紙、カードを入れておく
 ● このような時のために猫友、ボランティア、有料ボランティアの情報を知っておく

● 人づきあいが苦手でも、猫のために、新聞をとる
 何かあれば、みんなお互い様の精神で活動をしています。私たちの活動に興味のある人、賛同していただける人の連絡をお待ちしています。

問合先 動物愛護のら猫サポート
 (総合) 099・9614・4214
 eメール: nk6112mail@yahoo.co.jp



※市民公益活動団体については、市のホームページ (<http://www.city.izumisano.lg.jp/>) をご覧ください。